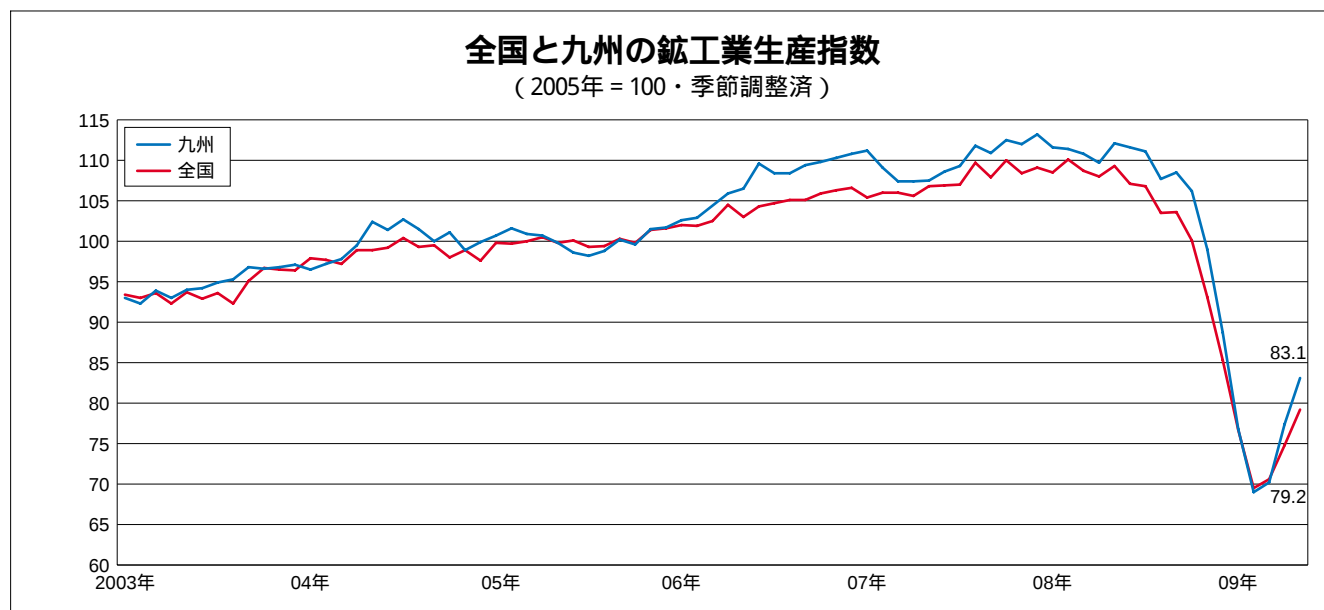


九州の鉱工業生産動向

[基調判断].....在庫調整の進展などにより、生産は持ち直しの動き

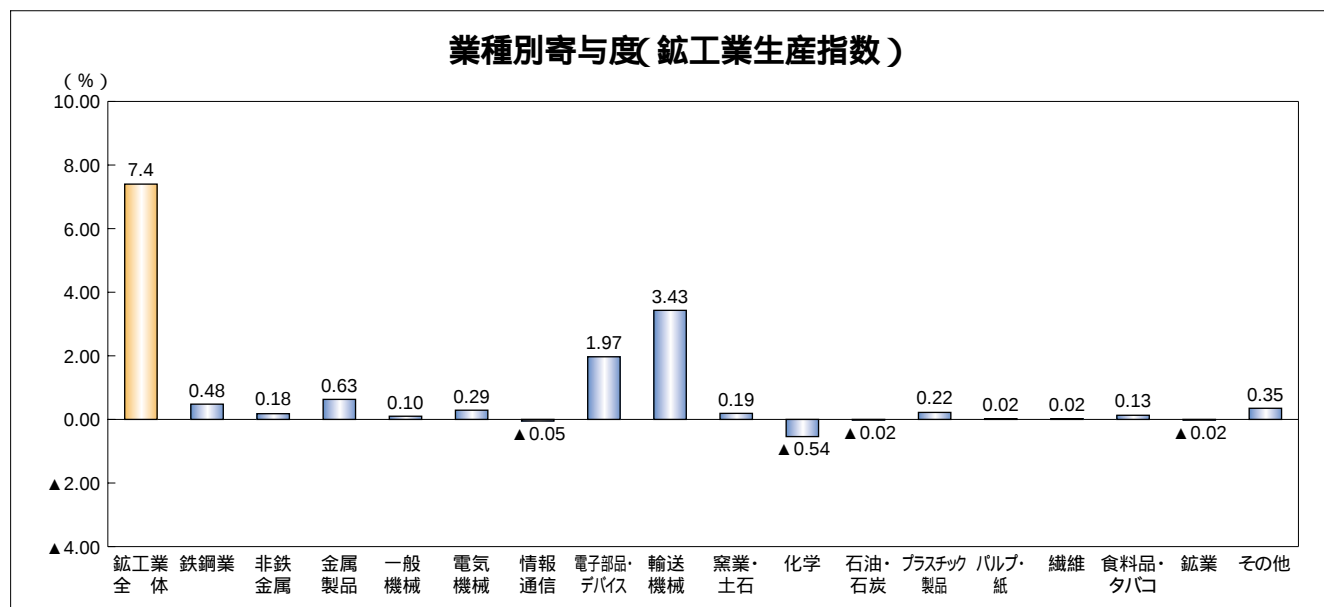
2009年5月の九州地区の鉱工業生産指数(季節調整済)は、在庫調整などが進展しており、前月比7.4%上昇し3ヵ月連続で前月実績を上回りました。九州地区の生産には全国と同様に持ち直しの動きがみられます。



(出所)九州経済産業局

[業種別動向].....輸送機械工業、電子部品・デバイス工業が大きく上昇

鉱工業生産指数の前月比7.4%の上昇について、業種別に寄与度を見ると、化学工業などでマイナスになったものの、輸送機械工業、電子部品・デバイス工業をはじめ多くの業種(17業種中13業種)でプラスとなりました。輸送機械は自動車メーカーの減産緩和、電子部品はゲーム機やアジア向け携帯電話などの需要が増加していることが反映されました。



(出所)九州経済産業局

福岡県の最近の経済動向

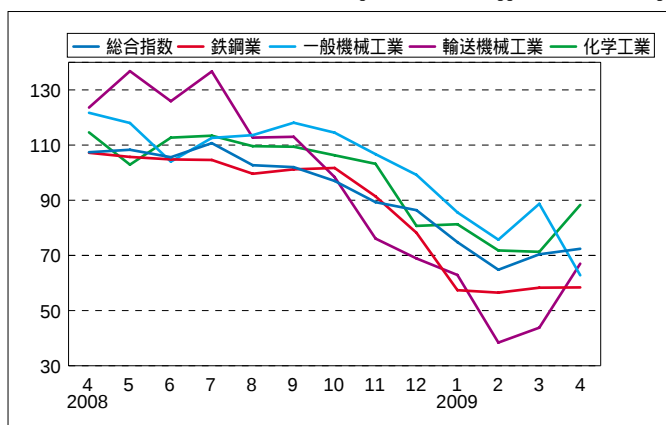
[福岡県の景気].....厳しい情勢の中、一部に持ち直しの動き

企業部門は生産活動に回復感が見られます。また、企業倒産も、件数・負債総額ともに前年比減少しました。しかしながら家計部門は、依然として生活防衛意識が強く、大型小売店販売額は前年を下回っています。また、新設住宅着工も、住宅市場の冷え込みの影響で分譲をはじめ持家、貸家ともに前年比減少し、公共投資も前年実績を下回りました。

福岡県の景気は、厳しい情勢にあるものの、生産活動など一部に回復の兆しが出てきているといえます。

[生産活動].....総合指数は2ヵ月連続で上昇

福岡県の鉱工業生産指数の推移(季節調整済)(2005年=100)



(出所) 福岡県

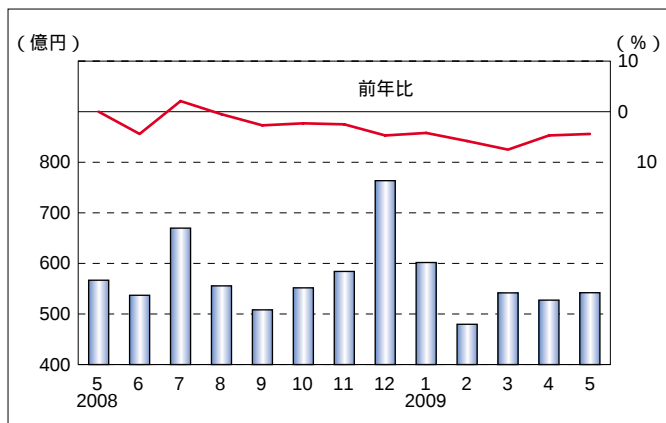
4月の鉱工業生産指数(季節調整済)の動きを見ると、基幹産業である自動車が減産幅を緩和したことなどの影響で、総合指数は72.4と、前月比2.8%上昇しました。

総合指数の上昇は2ヵ月連続となり、生産活動は最悪期を脱しつつあるといえます。

主要業種では一般機械は前月比29.2%低下、鉄鋼はほぼ横ばい、輸送機械は前月比53.0%上昇、化学は前月比23.8%上昇しました。

[大型小売店].....百貨店は減少、大型スーパーは増加

福岡県の大型小売店販売額



(出所) 九州経済産業局

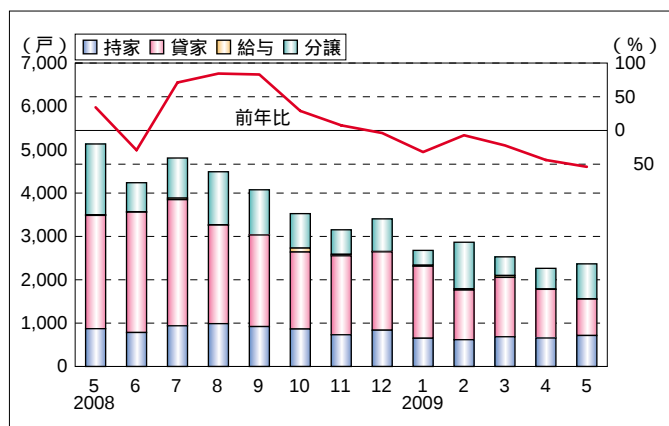
百貨店では主力の衣料品や身のまわり品が伸び悩み苦戦しました。また、ゴールデンウィークも「1000円高速」の影響で郊外に人が流れたこともあり売上を伸ばせず、前年比11.7%減となりました。

一方、スーパーは消費者が外食を抑える節約志向の影響で食料品が堅調で前年比2.0%増加しました。

トータルでは前年比4.3%減の542億円となり、依然として消費者の生活防衛意識が強く働いているといえます。

[住宅建設].....貸家・分譲の減少が著しく 6 ヶ月連続の前年割れ

福岡県の新設住宅着工戸数



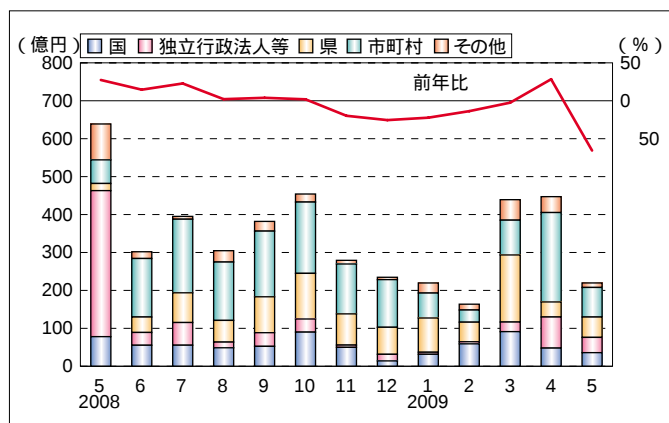
(出所)国土交通省

5月の新設住宅着工戸数は、持家で前年比18.0%減の715戸、貸家で同67.9%減の839戸、分譲で同50.2%減の812戸となり、全体では同53.9%減の2,367戸となりました。

前年同月と比較すると、貸家・分譲住宅の着工が半分以下と著しく減少していますが、これは住宅市場の冷え込みから、在庫処分を優先させる業者の動向が、着工を抑制しているためと考えられます。

[公共工事].....件数は増加、請負金額は減少

福岡県の公共工事請負高



(出所)西日本建設業保証

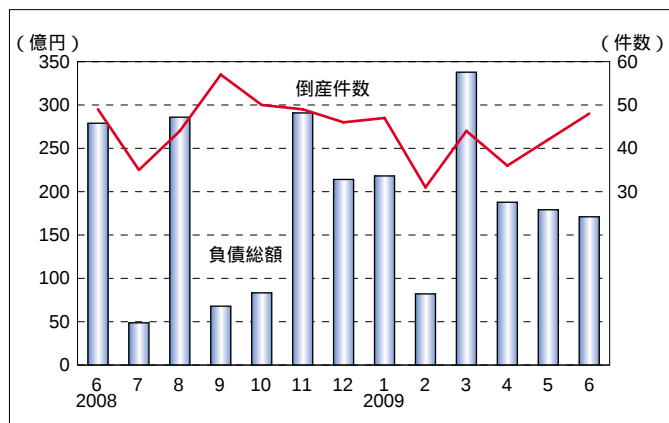
5月の公共工事保証請負状況(保証ベース)は、件数が前年比20.1%増の371件、金額が同65.6%減の220億円となりました。

これは前年同月に、九州新幹線関連の大型工事の発注があったため、その反動によるもので全国とは異なった動きを示しています。

発注者別では、「県」が九州歴史資料館本館棟新築工事などで前年比184.7%増でしたが、「国」「独立行政法人」「その他公共的団体」で発注が減少しました。

[企業倒産].....倒産件数、負債総額ともに減少

福岡県の倒産状況



(出所)東京商工リサーチ

6月の福岡県の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、公共工事の前倒し発注などが歯止めをかけ、件数は前年比2.0%減の48件、負債総額は同38.7%減となる171億円となりました。

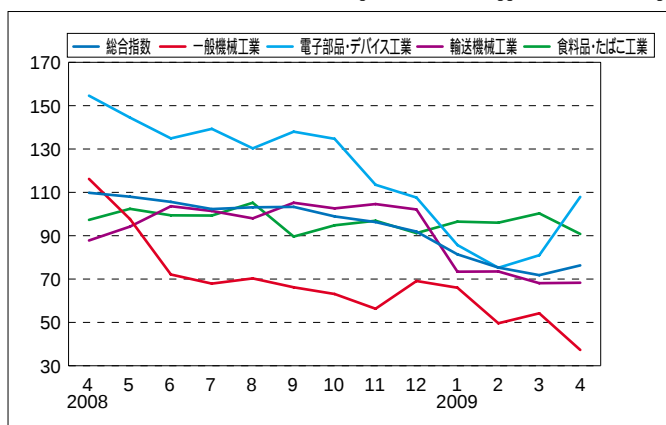
熊本県の最近の経済動向

[熊本県の景気].....厳しい状況が続くなか、総合生産指数がプラスに転じる

生産面では、電子部品・デバイスが大幅に増加し、総合指数は7ヵ月ぶりにプラスに転じました。個人消費は所得環境の悪化などにより節約志向が強まって前年を下回り、住宅建設も全般的に慎重姿勢で推移していますが、公共工事の件数が増加しているほか、企業倒産も落ち着いた状況が続いています。

[生産活動].....電子部品・デバイスが大きく上昇し、7ヵ月ぶりに総合指数はプラスに転じる

熊本県の鉱工業生産指数の推移(季節調整済)(2005年=100)



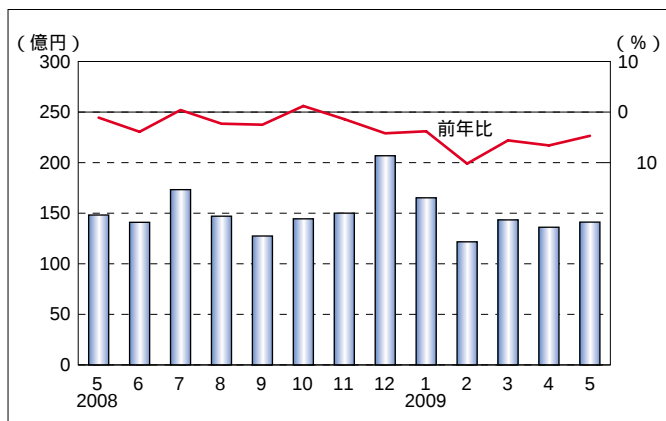
(出所)熊本県

4月の鉱工業生産指数(季節調整済)の動きを見ると、総合指数は前月比6.3%上昇し76.3となりました。

一般機械や食料品・たばこは前月比低下、輸送機械はほぼ横ばいに留まりました。しかし、生産調整の緩和により電子部品・デバイスが大きく上昇し、総合指数は7ヵ月ぶりに前月比プラスとなりました。

[大型小売店].....生活防衛意識が強く前年比4.7%減

熊本県の大型小売店販売額

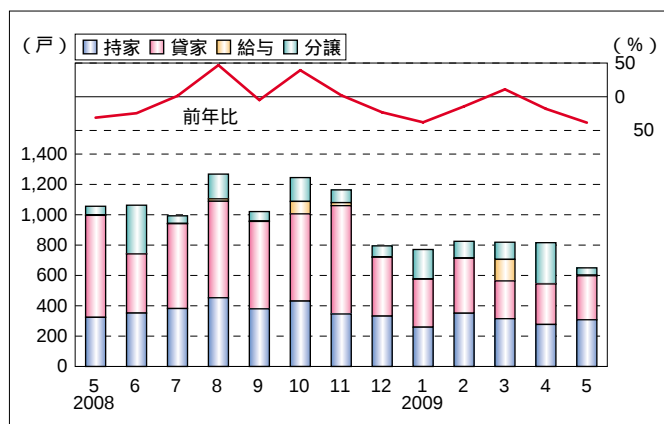


(出所)九州経済産業局

5月の県内大型小売店販売高は、消費者の生活防衛意識が強く働くなか、前年比4.7%減の141億円と前年実績を下回りました。衣料品や身の回り品の落ち込みが続く中、比較的堅調な食料品と家庭用品は前年比プラスとなりました。

[住宅建設] 貸家の減少などで前年比38.4%減

熊本県の新設住宅着工戸数

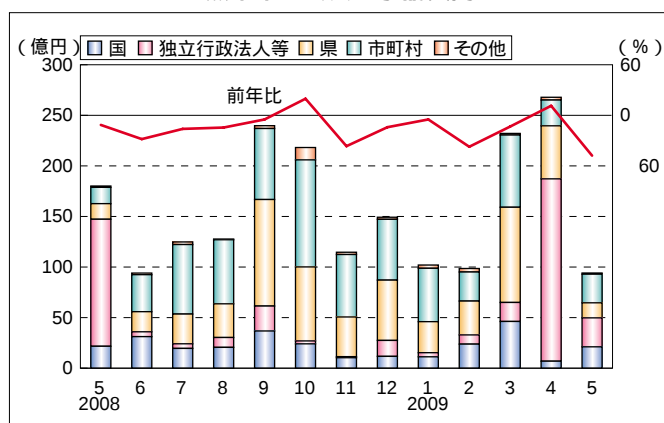


(出所)国土交通省

5月の新設住宅着工戸数は、全体では前年比38.4%減の650戸と、前年を下回りました。持家で同4.9%減の308戸、分譲は戸建の減少により同15.8%減の48戸となりました。貸家は同56.8%減の290戸と大きく減少しました。

[公共工事] 件数は増加するが、請負金額は減少

熊本県の公共工事請負高



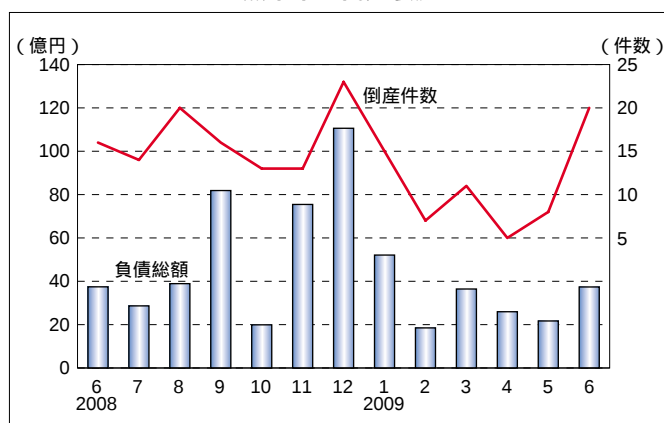
(出所)西日本建設業保証

5月の公共工事保証請負状況(保証ベース)は、件数が前年比9.1%増の227件、金額が同47.8%減の94億円と、件数は前年を上回りましたが請負金額は下回りました。

発注者別の請負金額をみると、「国」は同2.5%減、「独立行政法人等」は前年に請負額が大きかった九州新幹線関連工事の影響などで同77.2%減となり、「県」は同3.6%減、「市町村」で同75.5%増加したものの、「その他」で同10.9%減と、合計では前年を下回りました。

[企業倒産] 件数は増加、負債総額は前年並み

熊本県の倒産状況



(出所)東京商工リサーチ

6月の熊本県の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年比25.0%増の20件、負債総額が同0.2%減の37億3,800万円となりました。前年に比べて、小口の倒産件数が増加しましたが、負債総額はほぼ前年並みにとどまりました。

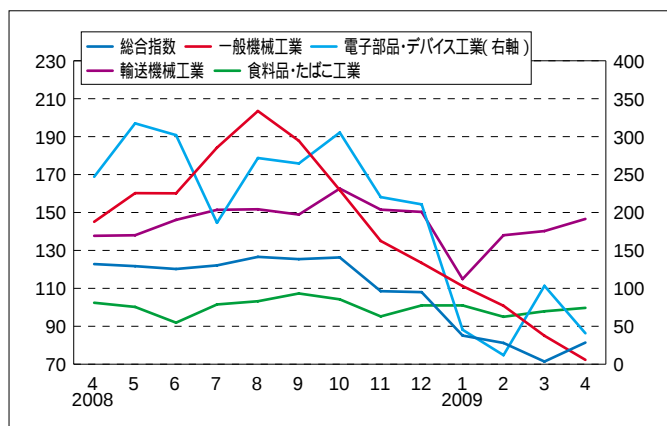
長崎県の最近の経済動向

[長崎県の景気].....厳しい状況続くが、生産活動や公共工事は好転

生産面では、業種別の動きは一定でないものの、鉱工業生産総合指数は6ヵ月ぶりに前月比プラスに転じました。大型小売店販売額は前年割れが続き、住宅投資の動きも弱いものの、県や市町からの前倒し発注に加え、国からの発注増で公共工事は大幅増となりました。

[生産活動]..... 6ヵ月ぶりに総合指数はプラスに転じる

長崎県の鉱工業生産指数の推移(季節調整済)(2000年 = 100)



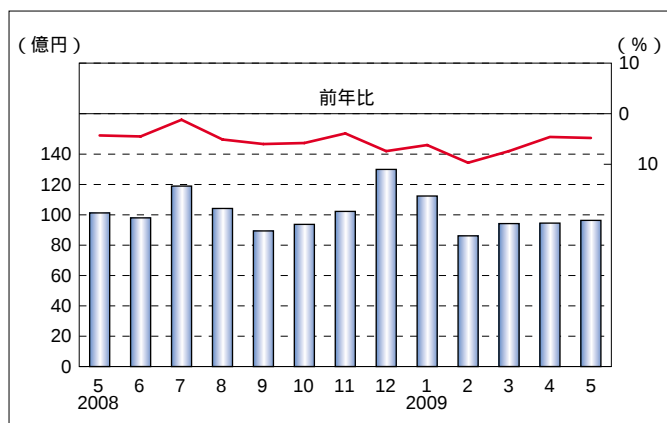
(出所)長崎県

4月の鉱工業生産指数(季節調整済)の動きを見ると、総合指数は81.4と前月比14.0%上昇し、6ヵ月ぶりに前月比上昇に転じました。半導体の生産が減少した電子部品・デバイスや、一般機械などで指数は低下しました。

一方、輸送機械や食料品・たばこは堅調に推移し、前月比上昇しました。

[大型小売店].....節約志向強まり前年比4.8%減

長崎県の大型小売店販売額



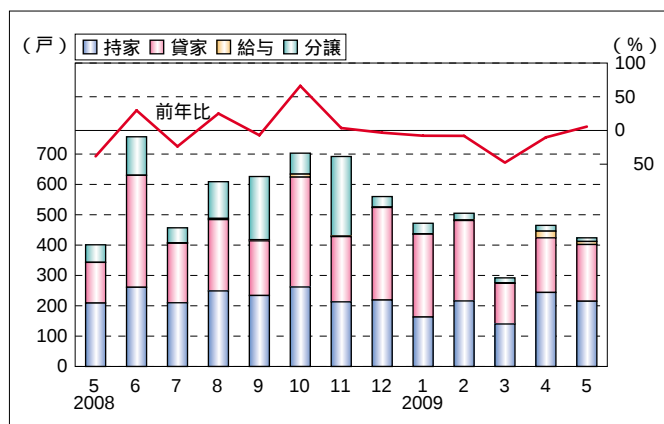
(出所)九州経済産業局

4月の県内大型小売店販売高は、消費者の節約志向が強まるなか、前年比4.8%減の96億円となりました。

業態別にみると、百貨店での販売高は同8.0%減、大型スーパーの販売高は食料品が堅調で、同3.4%の減少に留まっています。

[住宅建設] 貸家の増加により前年比2.9%増

長崎県の新設住宅着工戸数

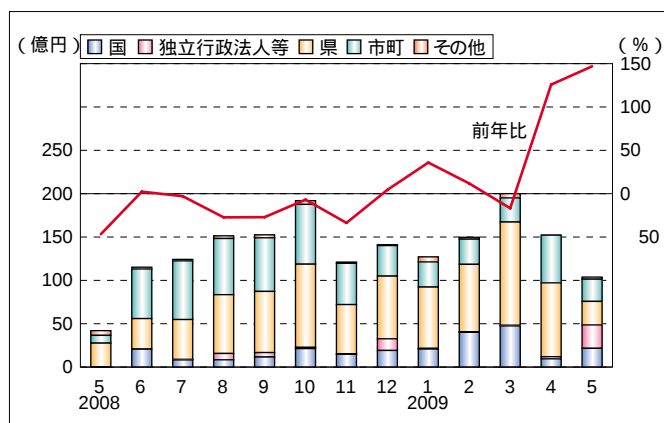


(出所)国土交通省

5月の新設住宅着工戸数は、持家で前年比2.9%増の215戸、貸家で同39.6%増の187戸、分譲で同79.3%減の12戸となりました。給与住宅は10件となり、全体では同5.7%増の424戸と前年を上回りました。

[公共工事] 件数金額とも「国」「独立行政法人」等からの受注増で大幅に増加

長崎県の公共工事請負高



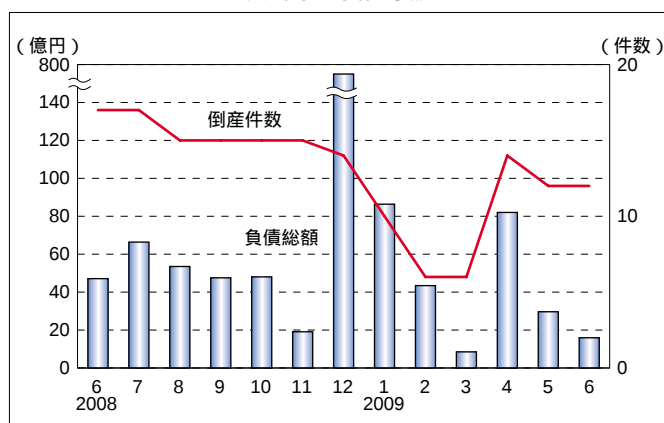
(出所)西日本建設業保証

5月の公共工事保証請負状況(保証ベース)は、件数が前年比63.1%増の199件、金額が同147.0%増の104億円と、件数、請負金額とも政府の経済対策等を受け、前年比大幅に増加しました。

発注者別の請負金額をみると、「国」は横瀬貯油所護岸工事などで、「独立行政法人」では長崎大学病院の改修工事で同大幅増となり、「県」は同0.6%減ながら、「市町」では平戸市堤漁港のほか小口の積み上げで同約3倍と大きく増加しました。

[企業倒産] 件数、負債総額ともに前年比減少

長崎県の倒産状況



(出所)東京商工リサーチ

6月の長崎県の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年比29.4%減の12件、負債総額が同66.2%減の15億9,300万円となりました。4月以降、公共工事の前倒し発注効果などもあり、件数、負債総額ともに前年比減少しました。